

シリーズ

教育を 考える

「STEP」を通じた教師の自己変容
& 子どもとのかかわり

第1弾

STEPとは？PAC分析とは？

生徒指導における一次的・二次的援助サービスの適正化を進め、その学級づくりとそこで育った子どもたちは？

日時

2025/1

24

金

オンライン

21:00～22:30

定員

30名

ファシリテーター

松崎 学



◆ 爺の子育て & 共育相談室主宰。元山形大学教授。大学で教鞭を執る傍ら、子どもの能力への信頼をベースにしたチャレンジキャンプの実践、STEPを用いたチャレンジキャンプのスタッフ育成を通して成果を得ている。上級教育カウンセラー、ガイダンスカウンセラー、学校心理士スーパーバイザー、家族相談士。

STEPとは、アドラー心理学にもとづく子育て法で、ほめない、叱らないかわりに勇気づける子育て法です。自分で考え行動できる子、やる気のある子、責任感のある子、人に好かれる子、思いやりのある子…そうした子どもに育てる大人のあり方や考え方を学び、実践していくことで身につけていけるプログラムです。

お申し込み
お問い合わせ

Googleから右のQRコードを読み込み、
Peatixよりお申し込み、お問い合わせ下さい



シリーズ

教育を考える

オンラインセミナー

2025年
1月24日(金)

21:00～22:30

オンライン開催

セミナーテーマ

「STEP」を通した教師の自己変容 &子どもとのかかわり

企画趣旨

公教育において、不登校・いじめ問題等を解決できないまま半世紀以上が経ち、教員の休職が増加し、子どもも大人もストレスフルな学校システムと化している。文科省は、不登校の受け皿づくりに奔走し、不登校を生み出さない公教育については何ら方向性を示すことができていない。多様性の大きい子どもたちだが、“どの子もよく育つ”公教育を具現化できないのだろうか？教師-子ども関係がずっとタテ関係を維持・強化し、“ほめる/叱る”を中心とした生徒指導というかたちで、多くの教師は“脱・管理型”に苦戦しているよう。しかし、そのような中にありながら、自己変革をなし得た教師たちがいる。その自己変容内容を理解しつつ、今後の公教育に関する在り方についてもひとつの方向性を提示してくれるかもしれない。こんな“教師のリスクリング”があってもいいかも。

ファシリテーター

松崎 学

🍷 爺の子育て & 共育相談室主宰。
元山形大学教授。大学で教鞭を執る傍ら、子どもの能力への信頼をベースにしたチャレンジキャンプの実践、STEPを用いたチャレンジキャンプのスタッフ育成を通して成果を得ている。上級教育カウンセラー、ガイダンスカウンセラー、学校心理士スーパーバイザー、家族相談士。



第1弾内容

STEPとは？PAC分析とは？

生徒指導における一次的・二次的援助サービスの適正化を進め、その学級づくりとそこで育った子どもたちは？

STEPとは？

アドラー心理学にもとづく子育て法で、ほめない、叱らないかわりに勇気づける子育て法です。
自分で考え行動できる子、やる気のある子、責任感のある子、人に好かれる子、思いやりのある子…そうした子どもに育てる大人のあり方や考え方を学び、実践していくことで身につけていけるプログラムです。

お申込み

お問い合わせ

Googleから右のQRコードを読み込み、
Peatixよりお申し込み、お問い合わせ下さい

